

2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	阿部浩己
演習テーマ	人権と国際法から平和を読み解く
内容と卒業論文の指導方針	最大の目標である卒論の完成に向けて、春学期にテーマの決定、先行研究のリサーチと分析、論文全体の構成決めを行う。夏休み前から執筆にとりかかり、12月1日を目処に論文を一応の形に仕上げる。その間、ライティング支援センターも適宜利用しながら、批判や参考意見をもらう。学生生活の証というべき論文を作り上げるための指導と応援をします。
メール・アドレス	abekohki@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	木曜日 4限(事前にメールで予約を入れてください。)
授業概要	文献の講読と討論を重ねつつ、卒業論文執筆に向けて、適宜、研究発表をしてもらいます。講読する文献については、討論と思考の幅を広げ/深めるため、必要に応じて追加指定する。
授業目標	実証性に裏付けられた批判的思考の結晶としての卒業論文を完成させることを目標とします。世界と自分がどう結びついているのかを正確な言葉を用いてダイナミックに表現した作品に仕上がるよう支援します。
授業計画	<p>(3A)</p> <p>【第 1 回】 導入</p> <p>【第 2 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 3 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 4 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 5 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 6 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 7 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 8 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 9 回】 卒業論文執筆に向けた発表 1(予備的報告)</p> <p>【第 10 回】 卒業論文執筆に向けた発表 2(予備的報告)</p> <p>【第 11 回】 卒業論文執筆に向けた発表 3(予備的報告)</p> <p>【第 12 回】 卒業論文執筆に向けた発表 4(予備的報告)</p> <p>【第 13 回】 卒業論文執筆に向けた発表 5(予備的報告)</p> <p>【第 14 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 15 回】 文献講読と討論</p> <p>(3B)</p> <p>【第 1 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 2 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 3 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 4 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 5 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 6 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 7 回】 卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 8 回】 卒業論文執筆に向けた発表</p>

	<p>【第 9 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 10 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 11 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 12 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 13 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 14 回】卒業論文執筆に向けた発表</p> <p>【第 15 回】全体のまとめ</p>
予習	毎回、指示するので、最低でも 2 時間程度の自習時間を設けてください。
復習	毎回、2 時間程度の時間をかけて、授業の内容をまとめる作業を行ってください。
授業に関する注意事項	卒業論文の主題は、本演習のテーマにこだわらず各自が自由に決めてください。 思考の深め方、論文執筆の作法など、卒業論文を完成させるために必要な助言をします。
教科書	特になし
参考書	適宜指定します。
成績評価の基準	論文 70% 平常点(積極的な参加, 発表)30%
関連 URL	
備考	